

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	沖縄と米国オレゴン州における超高齢者の生活習慣および栄養に関する比較研究（縦断・横断研究）
当院の研究責任者 (所属)	所属：琉球大学病院 第三内科 診療教授 氏名：石田 明夫
他の研究機関および 各機関の研究代表者	国立病院機構 沖縄病院 研究責任者名：特命副院長 渡嘉敷 崇
本研究の目的	認知症にかかわる要因は多岐にわたり、発症予防のため生活習慣および栄養に関して多面的な評価が必要となる。2007年と2011年に80歳以上の地域高齢者に横断的な調査を実施し沖縄県の健康長寿の要因を探求していく。さらに生活様式の異なるオレゴン州在住の超高齢者の解析データとの比較を通して、認知機能維持にどのような因子が関与するか検索する。 また宜野湾市の自治会活動に参加している65歳以上の高齢者を対象として行なった別の臨床研究「環境要因による腸内細菌叢の変化は認知機能に影響するか」で取得したデータと比較検討を行う。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2027年3月31日まで
調査データ(該当期間)	2007年～2023年3月31日まで 「環境要因による腸内細菌叢の変化は認知機能に影響するか」に参加した方の情報は、2020年12月～2023年6月まで
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま ・沖縄県宜野湾市在住の2007年および2011年の調査参加者 ・80歳以上で新規に調査参加を希望するボランティア高齢者 ・「環境要因による腸内細菌叢の変化は認知機能に影響するか」（承認番号1728）の調査参加者 ●利用する試料・情報 <縦断・横断研究> 以下の対照群の生活習慣および栄養に関して、疫学的な調査を行い比較検討する。 (1) 先行研究参加者の追跡調査（縦断的研究） ・2007年登録者197人 ・2011年登録者194名（継続追跡者59人） ・2017年登録者199人（継続追跡者42人） (2) オレゴン州超高齢者データ オレゴン州立大学より提供された既に匿名化された解析データ（特定の個人を識別できないものであって対応表が作成されていないもの）と、上記で集められた結果を比較する。 (3) 宜野湾市の自治会活動に参加している65歳以上の高齢者を対象として行なった別の臨床研究「環境要因による腸内細菌叢の変化

	<p>は認知機能に影響するか」で取得したデータと比較検討を行います。</p> <p>利用する情報：基本情報、疾患情報、聞き取り調査、身体測定、体力測定、脈波検査、血液検査、血管内皮前駆細胞数、頭部 MRI</p>
<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>共同研究機関に情報を提供する際の提供方法</p> <p>情報提供する場合は、個人情報とは関係のない識別コードを付け、匿名化（どの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう、加工または管理）し、紙の症例報告書を郵送、またはデータをパスワード設定しメール送信。</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>なし</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>調査により得られた対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない識別コードを付け、匿名化（どの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう、加工または管理）し、琉球大学医学部附属病院第三内科で管理する。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>独立行政法人日本学術振興会学術研究助成基金助成金</p> <p>本研究は琉球大学利益相反審議部会および共同研究機関の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとする。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098-895-1150</p> <p>琉球大学病院第三内科</p> <p>担当者：波平 幸裕</p>
<p>備考</p>	